

東日本大震災による被災地への支援活動を行いました

東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。
 上下水道局は、早期の水道復旧を支援するため、大震災が発生した翌3月12日に職員による応急給水隊を被災地へ派遣し、給水活動を実施しました。また、下水道施設の被災状況調査やペットボトルを提供するなどの支援を行いました。
 4月15日までの支援活動の主な経緯は次のとおりです。

- **応急給水活動** 応急給水隊は、約1週間の間隔で交代職員を派遣し、現地到着後、先発隊と交代して活動を継続しました。
- 3月12日……日本水道協会から九州地方支部を通じて応急給水活動の支援要請を受け、給水車2台、普通車1台、応急給水隊第一陣9名を派遣
- 3月14日……支援先の宮城県柴田郡村田町に到着し、応急給水活動を開始
- 3月18日、19日……応急給水隊第二陣6名を村田町へ派遣(現地到着後、応急給水隊第一陣と交代)
- 3月24日……支援先の村田町の申し出により応急給水活動を終了。日本水道協会宮城県支部の要請により、宮城県石巻市における応急給水活動の継続を決定し、現地へ移動
- 3月26日……石巻市において応急給水活動を開始
- 3月27日、28日……応急給水隊第三陣6名を石巻市へ派遣(現地到着後、応急給水隊第二陣と交代)
- 4月 4日……熊本市2名及び人吉市、天草市、益城町、大津菊陽水道事業団各1名による合同の応急給水隊第四陣を組織し、熊本市役所にて合同出発式を実施
- 4月 5日、7日……応急給水隊第四陣6名を石巻市へ派遣(現地到着後、応急給水隊第三陣と交代)
- 4月11日……熊本市2名及び菊池市、水俣市、小国町、湯前町各1名による合同の応急給水隊第五陣を組織し、上下水道局にて合同出発式を実施
- 4月12日、14日……応急給水隊第五陣6名を石巻市へ派遣(現地到着後、応急給水隊第四陣と交代)



村田町での応急給水活動



石巻市での応急給水活動



応急給水隊第四陣の合同出発式

- **水道応急復旧調査活動**
- 3月28日……日本水道協会から九州地方支部を通じて水道の応急復旧の要請を受け、職員2名を応急復旧調査班として福島県いわき市へ派遣
- 3月29日……いわき市より応急復旧は現地で対応可能との申し出があったため、復旧調査を終了し、熊本市に帰着
- **下水道施設被災状況調査活動**
- 3月28日……宮城県の要請により、下水道施設の被災状況調査のため熊本県、熊本市、八代市の合同による調査支援チームに職員2名を派遣し、宮城県へ出発
- 4月 5日……宮城県での被災状況調査を終了し熊本市に帰着

■ **飲料水の支援** 3月18日、23日、25日の3回に分け、災害備蓄用のペットボトル「清正水物語」20,832本(24本入り868箱)を支援物資として提供

排水設備の無料診断サービス

毎日使用する台所や水洗トイレなどから流れる排水について、気になることはありませんか。
 (例) ●臭いが気になる。●流れ(排水)が悪いような気がする。など
 排水設備(外回り)に関する相談や診断を無料で行っていきます。
 ご依頼の方は、下記までご連絡ください。
 ※管内の洗浄や詰まり除去、補修工事等はありません。
 ●職員は腕章と身分証明書を携帯しています。●営利目的に関わるものは、行いません。
 ●一般住宅の外回りの排水設備(下水道接続済み)を対象としています。



お問い合わせ (財)熊本市下水道技術センター ☎361-5491

平成23年度 上下水道事業関係予算報告

水道事業

「熊本市水道事業経営基本計画」や「水道施設整備実施計画」、「第6次拡張事業計画」に沿って、効率的・効果的な設備投資を行い、皆さまに安全でおいしい水を安定的にお届けするとともに、お客さまの視点に立った事業運営に取り組みます。



- 安心して使える水道** 90億8,995万1千円
お客さまへ安定した給水を行うため、配水管や施設などの更新・新設を行います。
- おいしさを届ける水道** 1億113万円
おいしい水道水をお届けするため、水質検査や施設などの更新・新設を行います。
- 災害に強い水道** 3億201万1千円
災害に備えて、幹線管路の更新や、施設の耐震補強を行います。
- お客さまとともに歩む水道** 5億511万1千円
お客さまへの情報発信を充実するため、ホームページの更新や水の科学館のリニューアルなどを行います。



下水道事業

「熊本市下水道事業 中・長期経営計画」を事業の指針として、皆さまの生活の安全性や快適性の確保を目指し、下水道の整備を推進するとともに、最良のサービスを安定的に提供できるよう事業運営に取り組みます。



- 下水道の普及促進** 47億9,460万円
お客さまの快適な生活環境を守るため、下水道普及率の向上に努めます。
- 浸水対策の充実** 6億9,641万9千円
浸水被害が多く発生する地域への対策を行います。
- 下水処理施設の更新** 18億6,425万円
生活排水を安定的に処理するため、下水処理施設の更新を行います。
- 水環境の向上** 25億4,450万2千円
川や海の環境を守るため、放流水の水質改善に努めます。
- 下水汚泥の安定的処分** 22億7,802万円
下水汚泥を固形燃料等に再利用することで安定的な処分を行います。



熊本市上下水道局の地球環境にやさしい取り組みを紹介していきます。今回は、下水汚泥を有効利用する取り組みについてレポートします。

これまで焼却・埋立処分していた下水汚泥の一部をセメントやコンポスト(肥料)の原料として有効利用することにより、平成22年度末時点で下水汚泥のリサイクル率は約31%となっておりです。

さらに、リサイクル率を向上させる方策として、下水汚泥から燃料化合物を製造し火力発電所の石炭代替燃料等に利用する施設の建設に向け取り組んでおります。この施設が完成することによって、平成25年度にはリサイクル率が100%になる見込みです。

- **どのくらいの規模なの? いつ頃完成するの?**
下水汚泥固形燃料化施設は1日当り下水汚泥(脱水ケーキ)50トンの原料から10トン程度の固形燃料を製造する施設で平成25年4月に稼働する予定です。
- **どのくらい環境にいいの?**
温室効果ガス排出量については、焼却時に比べて燃料製造時の温室効果ガス排出量は少なくなり、CO2換算で年間約2900トン、燃料利用先の石炭使用量が減ることにより、約3400トンの削減効果を見込んでおります。また、焼却灰が発生しないことから、埋立処分場の延命化にも寄与するなど環境負荷の低減を図ることができそうです。



平成23年度 水質検査計画を策定しました

水道部水質管理室では、皆様にお届けする水道水や水源の水の検査を定期的に行い、水質管理に努めています。
 その検査の計画は、毎年度「水質検査計画」として策定し、公表しています。

- **水質検査計画とは** 水質検査を「どのような地点で」「どのような項目を」「どのくらいの頻度で」行うかを定めたものです。
- **水質検査計画の閲覧場所** ○料金課 ○市役所水道料金窓口 ○北部水道センター ○西部水道センター ○富合営業所 ○城南営業所 ○榎木営業所 ○上下水道局ホームページ また、水質検査計画についてのご意見やご質問は、随時受付しておりますのでお気軽にお問合せください。

検査	説明	検査地点数	検査頻度
原水	井戸からくみ上げたそのままの水	119か所	年3回
浄水	原水を浄水処理した配水池等の水	53か所	年2回
給水栓水	蛇口(給水末端)から出る水	52か所	月1回
	残留塩素、色、濁りの検査	67か所	毎日

お問い合わせ 水源課 水質管理室 ☎361-5527

下水道使用開始・廃止の届出をお忘れなく

水道水や井戸水・温泉水などをお使いの方が、下水道に接続して汚水を流し始めたら使用開始の届出が必要となります。また、転居などにより使用を廃止される場合にも届出が必要です。廃止の届出がないと、料金が請求され続けますのでご注意ください。
 なお、水道水だけをお使いの場合、下水道使用料は水道料金と合わせて請求しています。詳しくは下記お問い合わせ先まで。

マンションなどの使用戸数 および総代人の変更届について

共同住宅料金の適用を受けているマンションなどで、使用戸数の増減や総代人に変更がある場合は、そのつど「共同住宅料金適用申請書兼総代人届」の提出が必要となります。届出は、ご連絡いただきますと郵送します。また、上下水道局ホームページからダウンロードもできます。
 ※水道検計時の「水道ご使用量のお知らせ」で、使用戸数や使用者名をご確認ください。

お問い合わせ 料金課 ☎361-5400